

## 令和5年度 松江市立福原会館運営審議会議事録

1. 開催日時 令和5年8月3日(木) 15時00分から16時00分まで
2. 開催場所 松江市立福原会館
3. 出席者 委員(7名)  
小谷久美子、野津篤、矢田幸治、井上節男、門脇正人、  
家塚順子、稲田月子  
松江市(6名)  
小松原紀子、石倉昌志、野々村いづみ、村上幸人、  
矢田英之、板持努  
福原会館(3名)  
安部清志、見崎裕子、渡部正司
4. 委嘱状交付
5. 開会あいさつ(小松原松江市市民部長)
6. 自己紹介
7. 審議会の成立  
委員10名中、7名の出席により審議会が成立していることを報告する。
8. 情報公開について  
松江市情報公開条例第30条に基づき、審議会の議事録は公開とすることを周知する。
9. 議事
  - (1) 会長及び副会長の選任(案)
  - (2) 令和4年度事業報告
  - (3) 令和5年度福原会館運営方針(案)
  - (4) 令和5年度福原会館事業計画(案)
10. 会長及び副会長の選任  
松江市隣保館設置条例施行規則第7条に基づき、委員の互選により会長に小谷委員、副会長に門脇委員を選任する。

1 1. 会長あいさつ（小谷会長）

1 2. 議長選任

会長が議長を務めることを確認する。

1 3. 議事録署名人の選任

議事録署名人には井上委員、稲田委員を選任する。

1 4. 審議の経過

（2）令和4年度事業報告

館長が、令和4年度の事業について、「ふれあい広場」など具体的な活動の中で住民の実態把握に努めていること、高齢化の進む中で高齢者の介護等に関わる相談が多くなっていること、福原会館周辺地域人権教育交流研修会の成果などを説明した。

また、事業別実施状況や来館・訪問研修について報告した。

質疑・意見なく、委員の承認を得た。

（3）令和5年度福原会館運営方針（案）

（4）令和5年度福原会館事業計画（案）

関連があるので館長が一括して説明をした。館長が平成31年3月第二次改定の「松江市人権施策推進基本方針」に基づく令和5年度の会館の運営についての基本的な考え方や重点的取り組みと令和5年度の事業計画案について説明した。

【質疑・意見】

（委員）

ボッチャにつきまして、最近例えば本庄の話ですけど、ゆくゆくは地区対抗をやろうということで毎月16日に有志を公民館に集めて練習をやっています。ボッチャとはこういうゲームですと、普及を図って地区大会や、手近のところでは福原会館と本庄で1回交流試合をさせていただいています。また9月15日に今度は本庄で、福原会館と交流試合をします。このボッチャもこれから普及していくのではないかと思います。

それから蛍の会、7月30日に持田公民館さんでお世話になりまして、露の新治さん。大変盛況でして、本人も喜んでおられましたと、明るく日電話をもらった人もいます。蛍の会、ずいぶん頑張っておられると思います。

（委員）

5年度の事業報告の案を見させていただいて、相談事業の地域の方が指導職員に相談し

やすい環境にあり、福祉に関する相談や生活相談を 100 件近く実施した、と 4 年度の事業報告には書いてあります。会館職員に民生委員さんがいらっしゃるの、また人柄もあって、そういうどんどん活発になっていくのだろうと、長年の付き合いをしながら、納得しながら見ていました。私も本庄地区で民生委員の役をいただいておりますけれども、なかなか本庄は地域が広い、松江市の中では大きな町ではないのですが、それでも町がたくさんあって、それぞれに配置はされているのですが、相談事業は簡単なようで案外難しい。100 件近く実施したってこの 100 件という数にすごいな、どうやって相談事業をされていたのだろう、相談は会館に皆さんがよってこられたときに行くのか、それとも空いた時間で訪問されたとかそのようなかたちで実施されているのか、方法の部分を教えていただければと思います。

#### (会館)

100 件近く、となっておりますが、延べの人数ですので、1 人の人に継続的に関わるほうが多いと思っています。会館の仕事としても相談事業で相談を受けることもありますし、民生委員としても同じような感じにはなるのですが、会館に来られる方もいらっしゃいますし、また地域の方から情報をもらってそこに訪問するとか、直接ではなくても間接的に困っておられる方がいると聞いたりして訪問します。高齢者の 1 人暮らしという方がこの地域多くて、それで数的にも多いのですが、一回その方に関わると継続的に関わっていくということなので、これだけの数字になると思うのですが、独居の方がとても多いということがこの地域の特徴かと感じています。

#### (委員)

私たちが毎日 3 日も空けず訪問するわけではなくて、仕事しながらですので、毎回毎回本当に反省の連続なのです。推進員さんたちと一緒にやって行きますが、推進員さんも仕事をしながらの方たちがほとんどなので、他の町内によってはそうではないところもあるかもしれませんが、まったく推進員さんとして手を挙げていただけない地区も人口が少ないところなどあったので、なんか申し訳ないねと言いながら、会うとそういう話が必ず 1 回 2 回は出てくるのですが、拠点というか、そういうところがある、それを作っていけないといけないのだろうと反省しつつ思いますけど、毎回町内の方の様子をちゃんと把握しておられるということは学ばせていただきたいなと思います。

#### (委員)

先ほどのお話を聞きながら、会長さんも仰ったようにこの地域の皆様が、ひとつとではなくわがこととして捉えておられるというのが、この数字に出ていると思いますし、姿が見えないと会館職員さんに連絡して行かれることもあるし、私もなんとなく気になるから、ちょっと行ってみる、という連携というか、本当にひとつとではなくてわがこととしてみんなが受け取られるから、そういうことが私は次につながるということで今

日にいたっている結果ではないかなと。それが元をただせばこうしているんな問題を抱えながら今日まで歩んできましたけども、これがいい結果にでる。そしてこないだ30日に露の新治さんのお話を聞いた後で、また来月ポッチャの計画を立てていただいているようですが、あの場をふと思ひまして、私長らくここの地区に住み着いておりますけども、今までの皆さんとの交流があったからこそ。本庄から声かけてもらえる、また個人的にお会いしてもお互いに兄妹みたいな感じ、前から知っているような感じで受け込めたのも、やっぱり私たちのことを理解してくださる、また私たちも惜しみなく今までのこととお話する、それによって少しずつではありますけども、今日の私たちが本庄さんとこうして交流できる、持田公民館さんを通してまた交流ができるというのも、この3館の結集があったから今いい結果がでている、それがこの地域で広がる、皆さんがひとごとではなくわがこととして捉えている結果がそうではないかなと今改めて思いました。

(委員)

4年度の活動結果と5年度の事業計画案で説明を聞きましたけど、説明の中で機関紙「旭」を見て、非常につながりという意味で、イベントの項目がざっと見たら、1か月、土日は休みとして20日くらいとして、7回くらいは何らかの形でお集まりしていらっしゃるといことは、いろんなことを催して何らかの形で地域の皆様と触れ合っているということなのですけども、福原会館で働いていらっしゃる職員さんがいろいろ工夫されているのではないかなと思います。私も持田の社協なのですが、とても2日に1回はイベントとしてはなかなか取り組めないものですから、そこらへんのご苦勞を、せっかく松江市さんも来ていらっしゃいますので、持田の社協としても公民館としてもやれることはないだろうとか、関係機関に要望するとさらに良くなる、ということがあればお伺いしたい。頻度が高くイベントをやっているから、頭が下がる思いで聞いておまして、いろいろご苦勞があるのではないかなと思いましたが、心がけていることが何かあれば教えていただければと思い質問してみました。

(会館)

なかなか心がけていることはないですけど、逆に持田公民館さんは地域食堂をやっているから、それを私たちも勉強させていただいて、高齢の方を対象に食堂をさせていただいています。

(委員)

できることは私どももやらさせていただきますので、何かありましたらお声掛けいただければと思いますので、よろしくお願ひします。

上述以外の質疑・意見なく、委員の承認を得た。

15. 閉会のあいさつ（門脇副会長）